

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市石川記念武道館	評価対象年度	平成21年度
事業者名	株式会社 明治スポーツプラザ	評価者	地域振興課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	幸区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	3,548	3,705	3,556	3,722	3,302	4,050	4,137	3,541	4,104	3,572	3,447	3,615	44,299
収支実績 (単位:千円)	収入	指定管理委託費		15,300									
		利用料金収入		4,725									
		事業収入他		1,454									
	収入計		21,479										
	支出	管理運営費		18,649									
支出計		18,649											
収支差額		2,830											
サービス向上の取組	<p>更衣のための準備時間として入館時間を10分早め、利用者側に立った武道館の運営に努めている。 割引率と利便性を向上した回数券(11枚セットで10枚分の料金、100円券とし大人と子どもの共通利用ができる)の設定を行い、幸スポーツセンターでも利用可能としている。</p> <p>空調設備がないため、特に夏期は高温になることから脱水症状防止のためにスポーツドリンクを中心とした飲料水の自動販売機を設置するとともに、水分補給の必要性を認識させながら事故防止に努めている。</p> <p>幸スポーツセンターに武道館の情報コーナーを設けるとともに、近隣町内会の掲示板に教室の案内を掲示させてもらうなどの情報発信を行い、石川記念武道館の認知度向上に努め、利用者も増加傾向にある。</p>												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 事業計画に基づいた施設の運営がなされている。 基本方針の具現化のため、「幸スポーツセンター・石川記念武道館サービス向上指針」を策定し、市民サービスの向上に努めている。 自己評価・今後の展開・改善案等の検証・検討を行うとともに、利用者アンケート等の要望・意見の事業への反映に努めている。					
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3	
(評価の理由) 事業計画に基づいた管理業務の実施がなされている。					

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業が実施しているか。	5	3(0.6)	3
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	広報活動	施設利用促進及び生涯スポーツ振興を図るための広報活動が成されているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 事業計画に基づいた事業の実施がなされている。					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか。	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 予算と決算の比較増減があるが、単年度内で調整し、適正に執行していると評価する。					

4. 総合評価

評価点合計	60	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすよう努めている。地域の武道振興を担う施設として、武道活動の場を提供するとともに、ヨガ教室など武道以外の運動プログラムを実施することで武道館に無縁であった市民を取り込み運動の機会を提供するとともに、武道館の認知度向上に努めていると評価できる。また、単に武道教室を多発し集客するのではなく、自主的な武道による心身の鍛錬活動を支援する観点からの事業にも取り組んでいる。個人情報取扱いにおける社内テストを実施し、情報漏えいの無いよう徹底している。また、情報公開を想定した各種資料の整理・保管も行っている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

施設の老朽化による問題も発生しているが、丁寧な維持管理により対処すること。今後も、幼児から高齢者まで市民誰もが地域で気軽に武道を楽しめるスポーツの拠点として、生涯スポーツを通じてのまちづくりを目指すとともに、市民の健康・体力の維持・増進や武道活動の推進に努め、生涯スポーツの振興を図るよう努めること。また、公平で平等な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性との両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営による経費節減に努めること。武道振興の担い手として施設・機能の一層の有効活用に留意し管理運営・事業展開を図るとともに、教室終了後の自主活動に対する相談・支援などについての検討、主体的な地域指導者・ボランティア育成事業の実施に向けての検討・調整など、上記の「評価」欄及び指導事項に留意し管理運営を行うとともに、総合型地域スポーツクラブの育成・支援、地域との連携によるスポーツ振興事業のほか、地域の活性化、高齢化対応、子育て支援、障害者スポーツ振興、健康都市づくりなどの行政課題の解決にも留意し、事業展開を図ること。